

サケの稚魚放流

上塚小児童の手で18万尾

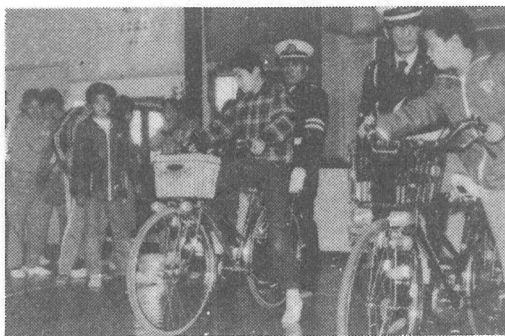


い」を連発、四年後の瀬河に思いを馳せながら「みんな元気で帰ってきて」とバケツを傾けました。

早く大きくなって帰ってきてと、三月十九日、上塚小児童五十六人の手で、栗山川にシロサケの稚魚十八万尾が放流されました。これは、県と内水面漁業協同組合が、栗山川の汚染浄化と、サケの新しい漁場をつくろうと「一石二鳥」をねらって実施したものです。

サケの稚魚を初めて見たという子どもたちは、口ぐちに「かわい

上塚小で自転車安全教室



交通安全に万全を期そうと、三月五日、上塚小学校で、今春中学校の入学を控えた児童二十七人を対象に、「自転車の正しい乗り方安全教室」が開かれました。

当日は、成東警察署員や地元の交通安全協会の方がたの協力を得て、まず体育館で、自転車の点検方法や交通ルールなどを、熱心に学びました。

続いて児童一人ひとりが、あらかじめ学校側で設定された路上のコースを、持ち寄った真新しい自転車で行きました。

児童たち全員は、信号機をついた交差点や路上で、教えられた合図や確認をきちんと守り、正しい乗り方を十分にマスターしたようでした。

ま ち の 話

野老、鈴木さんが「1日消防官」



消防長から服装点検を受ける野老さん(写真左)



税作文、小柴さん・井上君が入選(横芝中)

三月二日、横芝中学校で、「税を知る週間」応募作文入選者の授与式が行われ、同校二年生の小柴浩子さん、井上松広君に、野島美山武郡市納税貯蓄組合連合会会長から賞状と記念品が贈られました。

これは同連合会が、税について一人でも多くの中学生に関心を持ってもらおうと、昨年十一月中旬に管内中学校の生徒を対象に募集して行ったもので、募集に対して八中学校から、千七百七十六点(入選三十一)の応募がありました。

入選した二人の作文について、野島同連合会会長は「生徒達は身近な問題から税をうまくとらえている。その純粋さをいつまでも大切に、将来立派な社会人となってもらいたい」と話していました。

受賞した二名の方がたには、心からおめでたと申します。
(小柴、井上さんの作文は広報百七十一号及び百七十二号に掲載)

二月二十七日、春の全国火災予防運動に先だつて、八日市場市外三町消防本部(越川正雄消防長)で「1日消防官」体験入署が行われました。

これは、同管内の主だった事業所に勤務する職員や従業員に、日頃の消防体制の実態を知ってもらう防火知識を少しでも深めてもらおうと実施したものです。

この日「1日消防官」に委嘱されたのは男七人、女八人の十五人。町内からは野老登さん(横芝小教員)と鈴木博文さん(榎東洋コンテナタルカーボン)が参加し、出場演習や規律訓練、機械器具の取扱など消防官としての日課を身をもって体験しました。

参加した野老さんは「自分の体を張って働いている職員の厳しさがわかった。今日見たり体験したことを、職場に帰って役立てたい」と話していました。